

## 道の駅うきはに、防災広場などの防災拠点が整備されました



（表紙から）道の駅「うきは」は、平成27年1月に重点「道の駅」に選定されました。今回、地域活性化の拠点施設に対する国の重点的な支援として、南海トラフ巨大地震などの大規模地震やその他の災害を想定した防災機能強化のための整備が国土交通省により行われ、防災広場整備・防災パーゴラ・防災シェルターなどの施設が先月完成しました。

道の駅うきはは、昨年7月の九州北部豪雨の際にも災害ボランティアの宿营地となるなど防災拠点としての役割を果たしてきましたが、今回の整備により、緊急時における防災機能が強化されました。

## 安元知之氏と農民劇団「嫩葉会」、そして「野外円形劇場」

大正12年（1923）に結成された農民劇団「嫩葉会（わかばかい）」は山春村の医師安元知之（やすもと・ともゆき）氏の下に集まった青年達が、修養と娯楽を求めて結成した日本初ともいわれる農民劇団です。活動は4年と短いものでしたが、菊池寛の文芸作品やオリジナル脚本などで地元のみならず日田や久留米で公演活動を行いました。大正14年（1925）に完成した現在の「道の駅うきは」敷地内にある野外円形劇場は平成27年に発掘され、当時の姿がほぼ残されていることが分かりました。保存と活用を図るための整備が行われ、先月21日に披露が行われました。早速、市民有志による演劇も披露され（写真下）、今後、地域の文化発信の拠点としての活用が期待されます。



▲ 安元知之 氏



▲ 「嫩葉会」の上演



▲ 円形劇場の建設作業